



# 見附中学校

## 後期学校評価だより

<運動会(青チーム)>



<運動会(赤チーム)>



<MMF>



<いじめ見逃しゼロスクール集会>



<マラソン記録会>



<県央地区新人大会(男子バスケットボール部)>



<見附子育て教育の日>



<友和祭>



<立会演説会>



見附中学校では令和7年度、学校経営方針【未来を共に創る～仲間と共に 保護者と共に 地域と共に 教師と共に～】、友和会スローガン【昇～見附と繋がり 共に高まる見中～】のもと、様々な活動に取り組んできました。見附子育て教育の日の友和祭では、メルヘンコーヒー様と連携し、ドーナツを創作しました。

この度、2学期の様子とアンケート結果をもとに、今後の取組をお伝えする「後期学校評価だより」を発行いたします。ぜひご覧いただき、見附中学校の生徒たちの健やかな成長に向けて、引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

# <知>仲間と共に、深く学ぶ

## 2学期の取組

授業中の有効的な chromebook の活用や定期テスト前に分からないところを確認する「質問教室」、そして1日の学校生活を振り返る時間「ミッケタイム」を行い、学力向上に繋がる取組を継続しました。

また、職員は見附市の研修「師がく」の機会を生かし、授業力向上を目指しました。指導者から助言をいただき、今後の授業改善へと大いにつなげることができました。



<質問教室>  
テストに向けて学習中



<師がく>  
授業後に振り返り

## アンケート結果

※結果の値は「できた」「まあまあできた」を合わせた数値

項目	目標値	結果 (1学期比較)	評価	グラフ
1 課題に対して意欲的に調べたり、話し合ったり、工夫して表現・制作したりすることができた生徒の割合	90% 以上	99% (+1%)	A	<p>できた：57.2%</p>
2 課題を解決するために、chromebook や友達との話し合いを有効に使えた生徒の割合	90% 以上	99% (±0%)	A	<p>使えた：70.4%</p>
3 課題に対して自分の考えをもち、意欲的に取り組むことができた生徒の割合	90% 以上	97% (±0%)	A	<p>できた：57.9%</p>
4 授業中に「やってみたい」「考えてみたい」「話し合ってみよう」と感じられる課題を追求することができた生徒の割合	85% 以上	92% (±0%)	A	<p>できた：44.7%</p>
5 単元の振り返りで、新しく分かったこと、できるようになったことを自覚することができた生徒の割合	85% 以上	97% (+1%)	A	<p>できた：57.9%</p>

## 令和8年度に向けて

生徒が意欲的に学ぼうとする魅力ある課題設定を一層重視し、学びの質をさらに高めます。その手立てとして、デジタルとアナログの有効的活用を図ります。ICTを活用した情報収集や意見共有に加え、ノートに書く、対話する、本物に触れるといったアナログの良さを生かすことで、生徒の思考を深め、仲間と共に学ぶ力を身に付けていきます。

# <徳>自他共に尊重し、高め合う

## 2学期の取組

10月にいじめ見逃しゼロスクール集会を行い、全校でいじめを許さない・見逃さないという意識を高めました。また、地域の方から協力していただきながら栽培したさつまいもの収穫も行いました。収穫したさつまいもを使い、メルヘンコーヒー様と共同でさつまいもドーナツを開発し、11月の見附子育て教育の日で販売しました。他にも、学級ごとにイベントを企画し、多くの保護者・地域の方に楽しんでいただくことができました。生徒一人一人が役割を担い、生き生きと活動する姿にあふれた1日となりました。

いじめ見逃しゼロ



さつまいも収穫



友和祭



## アンケート結果

項目	目標値	結果	評価	グラフ
1 自分の住んでいる地域や見附に愛着をもっている生徒の割合	90%以上	95% (+2%)	A	<p>もっている : 61.2%</p>
2 人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合	90%以上	99% (+1%)	A	<p>思う : 77.0%</p>
3 自分にはよいところがあると思う生徒の割合	90%以上	88% (+1%)	B	<p>思う : 48.0%</p>
4 友達の良さを理解し、認め合って活動できた生徒の割合	90%以上	99% (+1%)	A	<p>できた : 74.3%</p>
5 自分が成長できたと感じた生徒の割合	90%以上	93% (-1%)	A	<p>できた : 58.6%</p>

## 令和8年度に向けて

今年度のさつまいも栽培や友和祭など、生徒が主体的に地域に関わり、仲間と共に課題を解決する活動を継続し、地域への愛着を深めていきます。また、生徒が自らの役割を自覚し、自分が誰かの役に立っていることを実感できるよう、友和会活動や学級活動の充実を図っていきます。

# <健>自分に向き合い、自ら高める

## 2学期の取組

眠育講演会では長岡崇徳大学の大平先生にお越しいただき、学力と睡眠の関係についてご講和いただきました。自分の弱さを克服するためにどのようなことを頑張るか決め、目標を立てました。その後のマネジメント強調週間では、保護者の方々にもご協力いただきながら自分の生活を振り返り、生活を整える実践を行いました。多くの生徒が、1回目の強調週間よりも具体的な生活改善方法を考え、実践できていたことがアンケートから明らかになりました。生徒たちが「自分に向き合った」結果、自分を「高める」方法を会得できたようです。



眠育講演会



学校保健委員会講演会

## アンケート結果

項目	目標値	結果	評価	グラフ
1 自分の生活の実態に合ったマネジメントシートを作成することができる生徒の割合	80%以上	93% (-1%)	A	<p>できた：44.1%</p>
2 マネジメントシートの目指す姿に近づくために努力したり、工夫をしたりすることができた生徒の割合	80%以上	88% (-1%)	A	<p>できた：40.8%</p>
3 マネジメントシートの振り返りをして、自分の生活を見直すことができた生徒の割合	80%以上	90% (-2%)	A	<p>できた：42.8%</p>

## 令和8年度に向けて

来年度も自分の生活を見つめ、自分の内面に向き合う活動を取り入れていきたいと思っています。そのために、強調週間の時期や保護者のみなさんへの周知方法を検討していきます。

また、SOSの出し方に関する授業にも力を入れ、学校での居場所、いろいろな選択肢を提案し、心の健康さ、幸福度をあげていければと思います。